

まちづくり交付金 事後評価シート
臼杵城下町地区

平成27年3月

大分県臼杵市

都道府県名	大分県	市町村名	臼杵市	地区名	臼杵城下町地区		面積	18.5ha				
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	784百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	高質空間形成施設(市道道路美装化)、既存建造物活用事業(地域交流センター整備、臼杵市観光交流センター整備)								
	当初計画から削除した事業		提案事業	事業活用調査(市民意向調査)、地域創造支援事業(臼杵市観光交流センター特産品等販売コーナー整備)								
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(大手門広場整備)、高質空間形成施設(祇園洲辻線の一部区間)	大手門広場の整備については、事業期間中に開催した市民意見交換会での意見も踏まえ、当該事業の代替地と想定していた子ども公園の現存する緑の環境の存続が大切であると判断するとともに、当該事業の目的である城下の景観保全については景観条例の施行により城跡への眺望景観保全の手法を確保することとし削除した。祇園洲辻線の一部区間については、景観整備と賑わいという観点からより有効性が高い辻広場周辺整備を行うこととし、削除した。		削除した事業に代わる事業や施策が取り入れられているため。目標、指標、数値には影響しない。					
			提案事業	地域創造支援事業(歴史資料館整備事業)	市民意見交換会での意見も踏まえ、観光交流センターの中心市街地の玄関口としての機能の向上をめざし、より幅広い層の来訪者へ臼杵の歴史や雰囲気を感じてもらい、よりわかりやすく、町なみ散策への誘導を行うため、散策案内の中に歴史紹介スペースを設ける施設整備を優先すべきと判断し、学術的な資料の展示施設である歴史資料館の整備は他施設で検討することとし、本事業から削除した。		削除した事業に代わる事業や施策が取り入れられているため。目標、指標、数値には影響しない。					
	交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		観光交流センターの交流と賑わいの場としての役割をより高め、町なみ散策の出発点の景観整備を図るため追加した。		美装化の他路線に代わり、その目標を達成するために効果的な事業を追加することから、目標、指標、数値に好影響を与える。					
変更	変更	地域創造支援事業(観光交流センター特産品等販売コーナー)		より臼杵の情報発信、PRを推進し、賑わいや交流の促進のため追加した。		賑わいや交流の促進を達成するために、効果的な事業を追加することから、目標、指標、数値に好影響を与える。						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	臼杵の町なみ来訪者数	人/年	80,687	H19	100,000	H25	68,085	×	あり なし	● ●	平成27年4月
	<p>・近年まちなみ来訪者数は減少しており、評価値においては数値目標を達成できていない。指標へ大きく影響のある観光交流センター(プラザ)の開館が平成26年5月となったため、事業効果を確認できなかったが、市民アンケートでは、施設の建設について好意的な結果が得られていることから、今後の来訪者の増加が期待されることである。</p> <p>・本事業の実施により、歴史特性を活かした町なみ景観が整備され、町なみ散策を楽しめる環境は向上した。このことは、市民アンケートでも臼杵城址周辺における歴史的な景観の向上による評価として表れている。今後は整備された施設および町なみのPRとあわせ、各施設で行われるイベントと町なみ散策を結びつける取組み等により来訪者の増加をめざす。</p> <p>※評価値は平成26年4月時点</p>											
指標2	市営(下屋敷前)駐車場の利用台数	台/年	17,157	H19	20,100	H25	19,290	△	あり なし	● ●	平成27年4月	
<p>・下屋敷前駐車場の無料化により平成25年度の数値を計測できなかったため、平成23年度の数値を評価値とした。稲葉家下屋敷の整備もあり、平成23年度の時点では目標値そのものまでは達成されていないが、市民アンケートの結果において、稲葉家下屋敷周辺の景観との調和について高い評価を受けており、改善傾向にある。</p> <p>※評価値は平成24年4月時点</p>												
指標3	中央通り商店街通行量	人/日	1,663	H19	1,800	H25	1,058	×	あり なし	● ●	平成27年8月	
<p>従前値と評価値の計測時期が異なる点や年1回(1日)の計測のため、不確定な面もあるが、近年、通行者数は減少しており、数値目標を達成できていない。</p> <p>本事業により、来訪者を商店街へ誘導できる環境は向上していることから、今後はさらに商店街へつながる回遊ルートのPRや各拠点施設と商店街でのイベントの開催によるタイアップも図りながら、個々の店舗の集客力強化を図る。</p> <p>※評価値は平成26年8月調査結果</p>												
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	市営(畳屋町)駐車場の利用台数	台/年	19,443	19		17,182			●	平成27年4月	
	その他の数値指標2	都市計画道路「特殊街路」の改良率	%	45.5	19		51.7			●	平成27年4月	
その他の数値指標3	既存家屋等の修景件数	件	168	19		224			●	平成27年4月		
その他の数値指標4	サーラテラスと観光交流プラザの合計来場者数	人/年	56,149	19		105,418			●	平成27年4月		
<p>景観条例(旧歴史環境保全条例)による城下町の町なみ景観の保全。形成の取り組みである民間の建築物等の修景件数も着実に伸びており、歴史的街並みの整備、拠点施設の整備と合わせ、面的な景観整備が図られている。これまで同様に住民の意識の高さが継続している。</p> <p>本事業により近接し、類似する交流拠点が2つとなった状況の中、指標1で捉えきれない観光客、市民の両方を含めた来場者数としては、増加しており、本事業における中心市街地の玄関口の整備による交流のひろがりなどにぎわいの向上への効果をうかがうことができる。</p>												

<p>4) 定性的な効果 発現状況</p>	<p>・臼杵市観光振興戦略会議が設置され、臼杵市の観光戦略についての提言がなされた。基本理念「おもてなし」のもと、官民において、臼杵の観光資源の再認識と観光振興に向けた気運が高まった。 ・町なみと結びついたイベントや観光PRの企画、取組みが多く行われはじめている (TV番組による情報発信、観光パンフ、キャラクター作成、JRと連携した旅行ツアー企画、食・祭りのPR企画イベント、竹宵と農泊企画『城下町と農村のコラボ』) ・全国町家再生交流会が臼杵開催されなど、町なみに対する評価の向上し。市民も町なみの価値や臼杵の魅力を再認識でき、自信をもたらしている。</p>		
<p>5) 実施過程の評価</p>	<p>実施内容</p>	<p>実施状況</p>	<p>今後の対応方針等</p>
<p>モニタリング</p>	<p>なし</p>	<p>都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</p>	
<p>住民参加 プロセス</p>	<p>大手門周辺施設整備活用市民意見交換会</p>	<p>都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</p>	<p>● ・平成23年3月に終了し、本事業の施設整備に活かすことができた。今後は出された意見を運営面において、活かしていく。</p>
<p>持続的なまちづくり 体制の構築</p>	<p>景観形成重点地区計画作成 観光振興戦略プランの取組み(臼杵市観光振興戦略会議)</p>	<p>都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</p>	<p>● ・景観条例を運用するにあたり景観形成上、抵触する建築基準法の規定の緩和策の実施に向け、住民の意向を把握し、取り組みを行う。 ・観光振興戦略プラン5つの重点戦略に基づき、市民・企業・市が一体となって観光振興に向け取り組む。</p>

様式2-2 地区の概要

臼杵城下町地区(大分県臼杵市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 中心市街地を臼杵の歴史特性を活かしながら、市民意向に配慮した景観整備を行うことにより、人・モノが活発に交流するまちの賑わいを復活させる。	臼杵の町なみ来訪者数	単位: 人/年	80,687	H19	100,000	H25	68,085	H25
目標1: 「臼杵城跡」に並ぶ城下町のシンボルである「稲葉家下屋敷」を補修・改修し、これまで観光を対象とした利用のみであったものを一般市民も利用できるような運用方法を確立し、市民も気軽に臼杵の文化・歴史に触れ合える環境を整備する。	市営(下屋敷前)駐車場の利用台数	単位: 台/年	17,157	H19	20,100	H25	19,290	H23
目標2: 地域特性にふさわしい景観環境のなかで来訪者が安心して円滑にまちなみの散策が楽しめる環境を整備する。	中央通り商店街通行量	単位: 人/日	1,663	H19	1,800	H25	1,058	H26
目標3: 市民・観光客が交流し、そのことにより中心市街地に人が集い賑わいが創出される環境を整備する。								

臼杵城下町地区で実施した事業

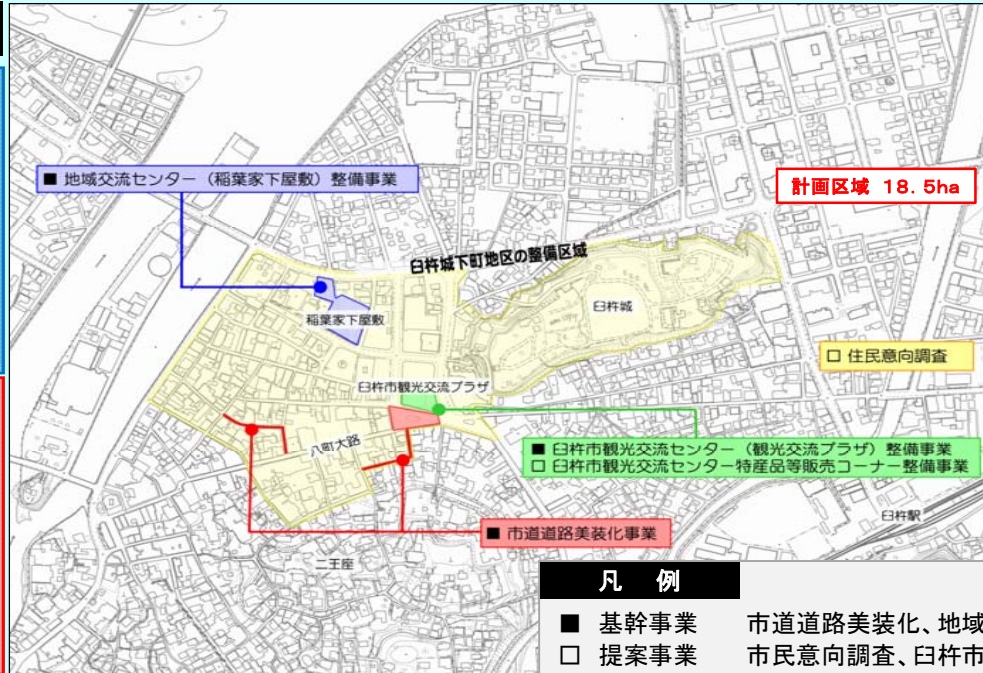
■ 地域交流センター(稲葉家下屋敷)整備事業 (A=3,100㎡)

稲葉家下屋敷を保存改修し、図書館とのつながりを持たせることで、観光客だけでなく、市民にも気軽に文化・歴史に触れあえる環境を整備しました。



■ 市道道路美装化事業(L=385m,W=2.5~10.0m)

街路の美装化を行い、臼杵城跡と城下町、点在する観光スポットや交流拠点のさらなる一体化を図りました。



凡例

- 基幹事業 市道道路美装化、地域交流センター整備、臼杵市観光交流センター整備
- 提案事業 住民意向調査、臼杵市観光交流センター特産品等販売コーナー整備

■ 臼杵市観光交流センター整備事業(A=1,037㎡) ■ 臼杵市観光交流センター特産品等販売コーナー整備事業(A=50㎡)

臼杵の玄関口といえる地域の企業ビルを改修し、観光や情報の拠点として整備しました。また、賑わいと情報発信機能をも高めるため、臼杵の土産品・特産品をPRできるコーナーを整備しました。



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期事業(H16~H20)での城跡および城跡下の整備に続き、都市計画道路整備の進捗、民間施設の移転と合わせた既存建造物の修繕整備および市道の美装化が図られたことにより、景観の連続性と来訪者の散策の利便性が向上した。 ・拠点施設および施設と一体となった広場の整備により、賑わい、交流できる場が形成された。 ・施設・景観整備が整った中で、交流や賑わいを向上させいく取り組みが必要となっている。 ・景観形成とあわせた防災面・安全面に配慮した取り組みが今後必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流拠点の有効活用による賑わいと交流の向上 ・整備された施設のPR、情報発信を行い、活用の向上を図る必要がある。 ・観光振興の重点戦略に基づき、引き続き観光振興施策に取り組み、まち全体の賑わいへとつなげていく必要がある。 ・商店街の個々の店舗における集客力向上の取組みとが必要であり、拠点施設におけるイベント等とのタイアップにより、賑わいの相乗効果が期待できる。 ・官民の役割分担や組織体制等の形成に向けた合意形成活動を通じたまちづくりの取り組みが必要となる。 ■ 不足の施設整備の充実および防災・安全面に配慮した取り組み ・歴史的道筋および景観上重要となる道筋で未整備となっている箇所について、さらなる景観の連続性と散策ルートとしての回遊性の向上のため、整備を検討していく必要がある。 ・景観形成重点地区内に指定されている準防火地域において、防火面と町なみ保全との両立が図れる施策の実施に取り組む必要がある。 ・子どもや高齢者が安全に利用でき、憩うことができる場の充実が必要とされる。